

千葉県野球協会特別規則	
この規則は、別に定める規則を除き、本協会が主催する大会の全ての試合に適用する。	
1	試合実施時期について (1)8月は全クラス試合を行わない。 (2)7月、9月はダブルヘッダーを行わない。
2	球場の開門は、原則試合開始60分前とする。
3	参加申込以降の選手変更を認めるので、変更が発生した場合は、試合当日に変更後の参加申込書1部持参し、オーダー表とともに本部へ提出する。(市民大会クラスは照会不要とする)
4	第1試合のチームは、試合開始予定時刻の60分前までに球場に到着のこと。 オーダー表はチームで準備のこと。(A級及びB・C級・マスターズの準決・決勝は除く)
5	オーダー表の提出は、その日の第1試合は開始予定時刻の30分前までに、第2試合以降は前の試合開始から60分経過後または4回終了時まで監督または主将が大会本部に3部を提出し、登録原簿と照合ののち、球審立会いのもと攻守を決定する。(市民大会クラスは照会不要とする)
6	オーダー表の記入方法 (1)登録された者のうちベンチ入り選手を記入する。 (2)県制定オーダー表は登録選手全員を記入する。当日不参加選手は氏名左に<レ>を付記する。 (3)指名打者制採用の場合、指名打者の守備欄に<DH>、先発投手は控え選手欄先頭に各々記入する。 (4)EDH制を採用の場合、EDH制選手の守備欄に<E>を記入する。
7	組み合わせ表にある試合開始時刻はあくまでも予定であり、第2試合以降のチームは、予定時刻の60分前までに集合し、大会本部へ到着を届け度ること。
8	ベンチに入れる人員 ・選手数は9名以上25名以内。
9	正式試合 正式試合になる回数は5回とする。5回を満たないときでも、制限時間を経過した場合は正式試合になる。
10	熱中症リスク下における試合 (1)審判員は現地に於て試合開始前にWBGT(暑さ指数)測定器を使用し暑さ指数を計測、WBGTの暑さ指数が35となり、WBGTが鳴動した場合は以降の試合を中止とする。 (2)試合中にWBGTの暑さ指数が35となり、WBGTが鳴動した場合は「前項9:正式試合」となるまで、試合を継続し、次試合以降の試合は延期とする。
11	得点差によるコールドゲームの適用 (1)9回戦・・・ゲーム中において、5回を終了して10点差が生じた場合及びゲーム中において、7回を終了して7点差が生じた場合。〈二段階制〉 (2)7回戦・・・ゲーム中において、5回を終了して7点差が生じた場合。
12	投手の準備投球(一般) (1)先発投手は初回に限り、6球以内とする。 (2)救援投手は初回に限り、6球以内とする。 (3)前回から引き続いて登板する投手は、3球以内とする。
13	延長戦 規定回数を完了して同点の場合、または制限時間を経過したため、球審が試合の打ち切りを命じたときに同点の場合は、延長戦を行わず直ちに特別延長戦とする。市民大会は決勝を除き、即、抽選。
14	特別延長戦 (1)A級は、180分以内で勝敗が決するまで行う。180分超となった場合は抽選で勝敗を決する。 (1)1回のみとし、勝敗がつかない場合はポジション順の抽選で勝敗を決定する。
15	試合時間 (1)A級は9イニング制とする。ただし、180分を超えた場合は新しいイニングに入らない。 (2)B級、マスターズおよびシニアは7イニング制とする。ただし、120分を超えた場合は新しいイニングに入らない。 (3)C級は7イニング制とする。ただし、90分(準決勝・決勝は120時間)を超えた場合は新しいイニングに入らない。 (4)市民総合スポーツ大会は7イニング制とする。ただし、90分を超えた場合は新しいイニングに入らない。
16	次の試合のバッテリーは、競技場内ブルペンの使用を認める。 (1)A級・B級・マスターズ・シニア:オーダー表交換後 (2)C級・市民総合スポーツ大会:前試合の60分経過後に本部より指示 (3)先発バッテリーのみ、捕手は防具を着用 (4)試合中チームの使用を優先
17	棄権した当日が雨天等で順延となっても棄権の取消はない。